

海を越えてひろがる交流の輪



広報 vol. 13

2004.4

Public Information

KAKOGAWA
INTERNATIONAL
ASSOCIATION
財団法人 加古川市国際交流協会



CONTENTS

2003年度国際交流レビュー 2

I LOVE KAKOGAWA 7

JICAボランティア募集について 6

インフォメーション 8

4月 外国人のための日本語講座 (4/10~翌3/11)

毎週木曜日の夜に市内近隣在住の外国人約30名が、協会ボランティアの指導により日本語を学んでいます。指導にあたるのは日本語ボランティア養成講座などの修了者で、毎回工夫を凝らした積極的な授業を展開しています。生徒は、初級2クラス・中級1クラスのレベル別に分かれ、国籍も年齢もさまざまですが、和やかな雰囲気の中で熱心に学んでいます。



<授業風景>

参加者の声

私は2003年11月に日本に来て、翌年2月にこの日本語教室に入り、いろいろな勉強をしています。日本語はとても難しいです。授業の中で、解らないところがあり「先生！！ここがわかりません！！」と聞くと、先生は優しく教えてくれます。私はそれから日本語教室が楽しくて楽しくて…。毎日勉強があったらな…と思っています。

初級クラス 李 継紅さん(中国)

日本語講座の友好的な雰囲気のおかげで、日本語を勉強することはとても楽しく面白いです。文法の勉強ばかりでなく、文化や習慣、社会についても習えます。講座でも様々な人がいるので、いろいろな国のことも習える可能性があって友達もできます。今年日本語講座でたくさんのことを学べることをたのしみにしています！！

中級クラス エリン レイニーさん(アメリカ)

学習者は違った環境の中で早く日本の生活に慣れ、日本人と仲良くなりたいと一生懸命に日本語を勉強しています。そんな外国人の役に立てたらと活動を続けています。しかしながら、授業の日以外では学習者の相談にのれない時もあります。日本人と外国人お互いが更に住みやすい町になるように、地域の皆さんにも理解と困ったときには手助けをお願いしたいですね。

初級クラス担当講師 大谷 佳子さん

日本語講座生の参加理由や目標は様々ですが、どの人も学習意欲は大変高く、真剣に日本語習得に努力しています。それだけに、授業の進め方には苦労するところで、易しい言葉でわかりやすく説明し、どうすれば正しく理解してもらえるか、毎回の教案づくりにかなりの時間を費やしています。しかし、それが同時に私達のやりがいにもなっています。授業のあと、学習者の満足げでにこやかに帰る姿を見ると、安堵の気持ちも広がります。

中級クラス担当講師 稲岡 安則さん

4月 ワイタケレ市学生訪問団来訪 (4/22~5/6)

ニュージーランドの姉妹都市より引率者2名と学生11名が加古川市を訪問、ホームステイしました。滞在中は市内・市外見学をするほか、別府西小学校・氷丘中学校を訪問し授業参加やクラブ活動体験、昼食を共にするなど交流を図りました。お互いに同世代の外国人と触れあえたことはよい刺激となり、大変貴重な経験となったようです。長いようで短かった2週間、たくさんの思い出を持って帰国しました。家族同様に温かくもてなしていただいたホストファミリーの皆様にお礼申し上げます。



4月 桂林市女性代表団来訪 (4/3~4/8)

副市長をはじめ、桂林市の第一線で活躍されている8名の女性代表団を迎え入れました。施設見学や学校訪問、女性団体との交流など大変有意義な時間を過ごし帰国されました。

桂林市友好代表団来訪 (8/6)

8月には市長をはじめとする14名の代表団が加古川市を訪問、市民病院等見学されました。医学を中心として始まった加古川・桂林両市の友好交流も18年目を迎え、年毎にその親密の度を深めています。今回の訪問により、両市の友好親善が更に深まり、より一層発展することでしょう。



5月 加古川市・マリンガ市姉妹都市提携30周年記念訪問 (5/5～16)

ブラジル・パラナ州マリンガ市との姉妹都市提携30周年の節目の年を記念すべく、21名の訪問団を結成し、さらなる友好交流の促進を願い訪問しました。両市は30年間にわたり教育・文化・経済など数多くの分野で積極的に、また着実に交流を重ねてきました。現地では、記念式典への出席をはじめさまざまな行事へ参加しました。これまでの歴史を振り返り、大きな節目の年の感動を互いに分かち合えたことは大きな喜びです。

マリンガ市加古川市姉妹都市
マリンガ文化体育協会



5月 語学講座 (5/24～10/28)

平成12年度から始まった協会主催の語学講座。4回目の今年度は、初級中国語・初級ポルトガル語・初級英会話・中級英会話を開講しました。いずれの講座も応募者多数で、市民の外国語に関する意識は年々高まっているようです。受講生は、外国人講師とのコミュニケーションをとおして、新たな言語を学ぶ楽しさも教わっています。15回の講座修了後も、継続して学習したいと熱心な自主グループも誕生しています。



<授業風景>

8月 第12回加古川市青年海外派遣 (8/7～17)

毎年、市内の18～30歳の青年を姉妹都市ブラジル・マリンガ市へ派遣する恒例事業。今年は団長・引率を含め11名の団員が参加しました。飛行機を乗り継ぎ、約30時間かけて姉妹都市マリンガ市に到着。4日間のホームステイ終了後、リオデジャネイロやイグアスの滝等を見学しました。その後、派遣団は疲れを見せることなく次の訪問地アメリカ・ロサンゼルスへと向かいました。



8月 第13回加古川市中學生海外派遣 (8/8～22)

市内各中学校を代表して、12名の派遣生が今年も姉妹都市ワイタケレ市を訪問しました。ワイタケレ市役所での市長らによる温かい歓迎に、少々緊張しながら皆で日本の歌を披露しました。ロトルア泊旅行では、先住民マオリの伝統的な歌と踊りのショーや、羊の毛刈りの様子などを見学。雄大な自然を背景に、様々な体験と発見の充実した毎日。別れの日には、ステイ先に今後の交流の約束とお礼の言葉を述べながら涙ぐむ子も。この貴重な経験と感動をずっと忘れないでいてほしいものです。



9月 ふれあいティータイム (9/7)

今回のゲストは、市内中学校で英語指導員として活躍されているニュージーランド出身のステファン・バトラーさん。ニュージーランドの歴史・生活・文化・教育のことや日本との様々な習慣の違いについて、ユーモアを交えて話していただきました。国技であるラグビーのビデオを見ながら、伝統的な「ハカ」の解説も披露。そして家族や趣味、夢などについても語っていただき、盛りだくさんの内容となりました。参加者から質問もたくさん出て、心ふれ合う楽しいひとときを過ごしました。



10月 ふれあい国際料理講座 (10/18・11/1・22・12/6・20)

世界各国の自慢の家庭料理を学ぶこの講座も12回目を迎え、今回はアイルランド・中国・ペルー・タイ・カナダ料理に挑戦しました。ペルー料理では、原産国ならではのじゃがいもを使った新メニューを開拓。料理をとおして、南米文化やペルーの有名な世界遺産についても聞くことができました。豊富な香辛料で有名なタイ料理では、本場のグリーンカレーを学びました。ココナッツミルクやナンプラー、ハーブを使用するなど日本のカレーとはまた違った作り方で、香りや彩りも良く、ピリ辛感がやみつきになりそうという皆の感想です。すべて近隣で手に入る食材を使ってのレシピなので、家庭でも味わえますね。



《アンケートより》

- ロシアや北欧料理も学んでみたいので計画して欲しい。
- 外国人講師と友達になれ、個人的にまた教えていただく約束ができました。
- 各回とも、先生の用意してくださった故郷の音楽を聞きながらの料理作りはフッドアイデア。
- 毎回楽しく参加できました。どうもありがとうございました。
- 初めての参加で不安でしたが、友達もでき楽しい時間を過ごすことができました。
- 次回はイタリア、ブラジル、アフリカ料理も習ってみたいです。
- し पार्टリーが増え、そのつと家でも作りました。毎回好評です。 Etc...

11月 チャットルーム (11/30)

「在住外国人と交流したい。」「もっと気軽にお話したい。」「外国人のお友達がほしい。」という皆様の要望にお答えして、開催が始まり今回で3回目。中国・アメリカ・カナダ・タイ・インドなど7カ国12人の外国人と、10代～60代の日本人26人が参加し、いろいろな話題が飛び交い、情報交換や楽しいおしゃべりに花が咲いていました。参加者全員、身近な国際交流を体感し、刺激的で充実した時間を過ごせたようです。回を増すごとに、より多くの方に参加していただき、国際交流に関心を持つきっかけの場となってほしいです。



参加者の声

国際交流に興味があり、毎回楽しみにしています。会場全体がなごやかな雰囲気なのでフレンドリーに会話ができました。日本語混じりの英語・中国語でも、まったくOKですよ。
高見真佐夫さん

たくさんの人とお話して、自分のわからない日本の習慣のことについて、いろいろ情報を得ることができました。反対に母国の紹介をしたり…。ここで友達になった人と、今もメールのやりとりを楽しんでいます。または是非参加したいです。
クアンルアンジットマンさん(タイ)

1月 日本語教育ボランティア養成講座開講 (1/18・25・2/18・3/7・14)

外国人に日本語を教える指導者を養成する講座です。2年に1度の開講ですが、年々応募者は増えています。講義は、日本語教育機関で広く使われている教科書を用いて、文法や構文のポイントを媒介語を使わずに教える方法等を学習し、外国人に参加してもらっての模擬授業を行うなど実践的で密度の濃い内容です。外国人への指導の仕方を学ぶと共に、日本人が改めて正しい日本語を学び、身に付けることのできる貴重な講座です。延べ21時間の講義を修了した皆さんには、協会ボランティア講師として日本語講座や、プライベートレッスンでの今後の活躍が期待されています。



1月 マリンガ市青年派遣団来訪 (1/22～26)

植田真一団長と15才～23才の9名のマリンガ市青年が来日し、4日間加古川市に滞在しました。青年達は、以前加古川市からマリンガ市に派遣された青年宅にホームステイし、お互いの異なった文化や習慣を体験しながら理解と交流を深めました。滞在中はホストファミリーと過ごすほか、市内の施設見学をするなど充実した時間を過ごしました。



2月 第12回加古川市障害者海外派遣 (2/3～10)

今年は8名の派遣生と医師を含む引率10名が、ニュージーランド・ワイタケレ市へ派遣されました。出発までに、簡単な英会話や宿泊研修などを経て、真夏の国で、のびのびと乗馬セラピーや農場・博物館見学をしました。親元を離れての外国での生活に、最初は戸惑いながらも、現地の人々のおおらかで優しい対応に、感激いっぱいの旅となりました。このような事業は全国的にも珍しく、各方面から注目されています。とりわけ今回は新聞記者も同行し、レンズをとおして皆の豊かな表情を垣間見ることができました。



JICA (ジャイカ) 海外ボランティア募集!

JICAは、ボランティア精神をもって開発途上国の国造り、人造りに協力したいと希望する熱意ある人々を世界に派遣しています。

あなたの技術、知識、経験を活かして、現地の人と共に働き、国づくりに協力してみませんか。

現在JICAでは、以下の要領でボランティアを募集しています。

	青年海外協力隊 日系社会青年ボランティア	シニア海外ボランティア
年 齢	20歳～39歳まで	40歳～69歳まで
応募資格	上記年齢であり日本国籍をもつ心身ともに健康な方	
募集期間	年2回（春・秋）＜日系社会青年は春、日系社会シニアは秋のみ＞	
派遣期間	原則として2年	1年ないし2年

その他個別相談も随時実施しています。詳細については、下記へお問い合わせ下さい。

独立行政法人国際協力機構JICA（ジャイカ）兵庫

電話：078 - 261 - 0352または078 - 261 - 0341

なお、JICAホームページでも説明会や募集についてご案内しています。

ホームページアドレス：<http://www.jica.go.jp/branch/hic/jocv/index.html>

資料郵送希望の方は住所・氏名・希望資料名を明記し390円（日系シニアは240円）

切手を同封の上、下記へご請求下さい。

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 JICA 兵庫ボランティア担当

ふれあい国際料理講座よりレシピの紹介

～アイルランドの家庭で古くから広く親しまれている代表的なお菓子～

『アップルクランブル』

◆材料(26cm×19cmのパイ皿1枚分)◆

りんご(紅玉):2個 薄力粉:170g バター:85g 砂糖:85g
水:大さじ2 シナモン:適宜 レーズン:適宜(ぬるま湯に戻しておく)

◆作り方◆

- ①りんごは皮と芯を取り、小さくいちょう切りに切り、変色を防ぐため、薄めの塩水につけ水気を切る
- ②パイ皿にバター(分量外)を薄く塗り、オーブンを180℃に温めておく。
- ③①のりんごを鍋に入れ、水と砂糖の約半量を加え、煮詰め、冷ましておく。
- ④クランブルを作る。ボウルに薄力粉とバター(細かく切ったもの)を入れ、指でこすり合わせるようにして、ポロポロの状態にする。砂糖を加え混ぜる。
- ⑤③の煮詰めたりんごをパイ皿に敷き、レーズン・シナモンパウダーをふり、上からクランブルで表面を覆い、180℃のオーブンの中段で40～50分焼く。

講座の中で、とても好評だったお菓子です。ぜひ挑戦してみてください。

I LOVE KAKOGAWA

～在住外国人紹介のページ～

今回は加古川市に在住のインドネシア<パダン>出身の女性にお話をうかがいます。

Q 自己紹介をお願いします。

A エルフィラと申します。4年前、インドネシアの私の大学で偶然に日本人に会いました。最初、友達になってそれから結婚して…その人が今の主人です。卒業後、2001年12月に来日しました。

Q 加古川の印象をお願いします。

A 人口はあまりたくさんいないし、渋滞も少ないし図書館にもいい本がたくさんあります。加古川に住むことはとても好きです。

Q 日本語はどのようにして覚えましたか？

A 最初、日本語はとても難しいと思いました。でも日本語が上手になりたいと思い、最初は日本語の本で勉強しました。それから少しずつ日本語をしゃべる練習をしました。そしてテレビのニュースを見て、わからない言葉を辞書で調べてメモを書いて毎日覚えました。さらに国際交流センターで勉強でき助かりました。

Q 日本で困ったことはありますか？

A いろいろな違いを感じました。日本に来たときは冬だったので、とても寒かったです。インドネシアには冬がありません。気温も寒くて23度です。でもそれから私は今住んでいる環境に自分自身を適応させていかなければならないと思いました。今は日本が私のふるさとのようです。とても大好きです。

Q どこか日本を旅行したことはありますか？

A いろいろなところに行きましたよ。とても楽しかったです。一番印象に残っているのは神戸フルーツフラワーパークです。景色が美しいし、花もきれいだし、そこではバーベキューができます。

Q 食生活で何か違いはありますか？

A インドネシアの食べ物の味は濃い口です。調味料と材料も違います。インドネシアの食べ物はココナッツミルクをたくさん使います。特にパダン料理です。でも、私は日本料理も好きなのですよ。

Q 週末はどのように過ごしていますか？

A 時々遠くの公園に行ったり、本を読んだり、インターネットをしたりしています。

Q インドネシアの紹介をお願いします。

A インドネシアは東南アジアにある国で、人口は約2億人です。インドネシアには景色のいいところがたくさんあります。一番有名なところはバリとロンボクです。どうぞインドネシアに来てください。インドネシアについて知りたいときはたずねてくださいね。



<市内の加茂神社にて>

Q インドネシアと日本の一番大きな違いは何ですか？

A 気候です。インドネシアは熱帯の国ですから雨季と乾季だけで一年中海で泳げます。

Q 日本の友達はたくさんいますか？

A 最初日本に来たときは、友達がなくて寂しかったですが、今はいい友達がたくさんいて、とても楽しいです。

Q 夢は何ですか？

A インドネシア人がもっと日本を知るために、日本語の学校をつくることです。

どうもありがとうございました

INFORMATION

新メンバー募集

国際交流センターでは、さまざまな自主グループが活動しており、下記のとおりメンバーを募集しています。詳細は、代表者にお問い合わせください。

講座名	レベル	活動日	代表者連絡先
1 ハングル勉強会	上級	火 19時～21時	李 承 峰：090-3992-0626
2 加古川トヨイル(ハングル)	中級	土 18時半～20時	李 承 峰：090-3992-0626
3 ハングル講座	初心者～上級	日 10時～12時	山本 祐 作：(0794)28-1055
4 楽しく学ぶ中国語	初級	木 9時～10時半	阿部 英 雄：(0794)38-7017
5 楽しく学ぶ中国語	上級	木 10時半～12時半	阿部 英 雄：(0794)38-7017
6 中国語サークル長城	初中級	土 13時～15時	寺下 賢 志：(0794)27-6101
7 フランク大学(英会話)	中上級	火 19時～21時	岸本 敏 美：(0794)28-0552
8 Saturday Chats(英会話)	中級	土 10時～12時	木村 正 敏：(0794)54-3440
9 時事英語勉強会	中上級	金 9時～12時	野崎 一 恵：(0794)54-2458
10 英会話サークル	初級	水 19時～21時	北村 典 子：(0794)22-2283
11 The New Ecc(英会話)	中上級	土 10時～12時	坂田 重 雄：090-3860-4417
12 スペイン語学習会	初中級	土 10時～12時	永井 道 子：(0794)24-2748

テレホンカード・古ハガキの回収

使用済みのテレホンカードやオレンジカード、古切手、外貨コインを回収しています。

ハガキは書き損じなど古いものでも結構です。集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジアの復興に役立てられます。協会まで持参、もしくは郵送してください。みなさんのご協力をお願いします。

国際交流センター利用案内

- 貸館時間 …午前9時から午後9時まで
(ただし、日曜日は午後5時まで)
- 休 館 日 …毎週月曜日。ただし、国民の休日等が月曜日にあたる時はその翌日

編 集 後 記

皆さんこんにちは。各種講座参加者やセンター利用者も年々増え、協会の取り組んでいる様々な交流事業やボランティア活動の状況から、協会の果たす役割の重要性と必要性を再認識しています。より一層皆さんの期待に応えられるよう、努力していきたいと思っております。国際交流に関する、みなさんのご意見・ご要望をお待ちしております。

2004年4月発行
(財)加古川市国際交流協会
〒675-0017 加古川市野口町良野387-1
TEL 0794-25-1166
FAX 0794-25-0200
E-mail kia@city.kakogawa.hyogo.jp

ボランティア募集

協会の事業をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

- ① 語学ボランティア
各種交流事業での通訳、ガイド及び翻訳
- ② 各種サービスボランティア
日本文化の紹介、外国人への日本語指導など
- ③ ホームステイボランティア
外国人のホームステイ受け入れ

賛助会員募集

協会では、毎年国際交流活動や外国人の受け入れ事業など、各種事業をご支援くださる賛助会員を募集しています。

会費は事業費の一部として活用させていただきます。

- 年会費
個人 1口 2,000円
団体 1口 5,000円
法人 1口 10,000円

- 申込書
協会事務所、市役所案内などにあります。
詳しくは協会まで。

*会員には、指定旅行社の優待割引制度・事業参加費の割引などの特典があります。